

みんなの全断連短信〔第24号〕

平成23年4月1日創刊
平成25年3月1日発行

(発行責任者) 中田克宜 (発行者) 公益社団法人全日本断酒連盟 事務局
〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-2-2 ☎03-3863-1600

<全断連助成金申請状況>

- ① 臨時相談窓口開設助成金 (100,000円)
 - ・関東ブロック研修会 (神奈川)
- ② 市民公開セミナー開催助成金 (各300,000円)
 - ・(社)神奈川県断酒連合会 (150,000円)

<2013年断酒会現況調査のお願い>

今年も現況調査の時期になりました。
各都道府県連事務局に現況調査票を配送しますので、ご協力のほどお願いします(提出期限:ブロック長宛て6月10日。全断連宛て6月30日)。
(平成25年3月8日付全断連事第25-1号参照)
会員の動向調査は社会的にも有用なデータとして評価されています。

<2013年度全断連会費納入のお願い>

3月20日付で各都道府県連に平成25年度上半期の会費請求書を送付しますのでご協力ください(納付期限4月20日)。上半期の請求ベースは平成24年10月1日現在の所属会員数×1,800円です。

<厚労省依存症対策検討会続報>

厚労省による検討会(座長:樋口進久里浜医療センター院長)は昨年11月の第1回(既報)に続き、

- ・12月21日第2回で医療関係者による意見発表を、
- ・1月31日第3回で依存症当事者による意見発表を実施した。

今後、第4回(2/27)、第5回(3/28)と、まとめの段階に入る予定。全断連からは立木名誉役員が出席。

<市民公開セミナー開催状況>

- ① 長野県長野市市民公開セミナー
1月19日長野市JA長野県アクティホールにて(N)長野県断酒連合会が長野県自殺対策緊急事業補助金交付事業の補助金をうけて開催。
長野県、長野市、精神科病院協会、福祉協議会、信濃毎日新聞社はじめ県内報道機関8社が後援。
テーマは「もしかして依存症?」。
 - ・信州大学医学部精神科医長 犬塚伸氏が「アルコール関連問題と家族」の題目で講演し、西原理恵子氏と信濃毎日新聞社編集委員 飯島裕一氏が「お酒をやめたいのにやめられないあなたへ」と題し

て対話フォーラムを行った。

- ・セミナーを通し、家族の「依存症は病気」であることの理解と学習の重要性を再確認した。
また、酒害に悩む参加者の多さを見て、まだまだ断酒会活動が足りないことを痛感した。
参加者は約300名
- ② 埼玉県南部市民公開セミナー
1月31日 川口保健所において、埼玉南部断酒新生会と川口保健所共催により開催。
 - ・テーマは「お酒と健康・いのち」
 - ・白峰クリニック 山崎茂樹氏が講演参加者は、行政一般等52、断酒会47、総計99名
- ③ 愛知 自殺とアルコール問題市民公開セミナー
2月3日名古屋国際会議場において、愛知県からの委託事業(自殺ハイリスク者対策モデル事業—アルコール依存症関連対策)として、(N)愛知県断酒連合会主催により開催。
後援:名古屋市、中日新聞社、東海テレビ放送、愛知県精神保健福祉センター
 - ・「命」「こころ」「お酒」この三つのワードであなたは何を連想しますか?とし、“持ちたいね「ふんばる力」~今を生き続けること、そしてお酒のこと、あらためて考えてみませんか?”~と呼びかけた。
 - ・基調講演:三重かすみがうらクリニック副院長 猪野亜朗氏「アルコール関連問題と自殺」
 - ・シンポジウム「生と死を考える」
真栄城輝明氏(奈良女子大教授)、秋田巖氏(京都文教大教授)、仙石真理氏(浄土真宗本願寺派僧侶)、猪野亜朗氏(指定論者)
参加者は、行政・医療30、一般46、断酒会207、総計283名。
- ④ 宮城県第11回宮城市民セミナー(仙台市)
2月10日東北大学片平キャンパス「さくらホール」で(N)宮城県断酒会主催により開催。宮城県・仙台市・NHK仙台・河北新報・東北放送が後援。
 - ・テーマ「アルコール関連問題とネットワーク作り」
今回は東日本大震災後のアルコール関連問題に関し、地域連携を強化するため、これまでの「アルコール依存症とうつ・自殺問題」に加えて、ネットワーク作りを取り上げた。
 - ・講演 東北会病院医師 奥平富貴子氏
東北会病院看護師 三浦敦子氏
参加者は、行政2、医療6、一般99、断酒会

97、総計204名を得た。

会場は満席で特に一般市民の参加者が多かった。

⑤ 埼玉県東部第4回市民公開セミナーin草加

2月10日草加市立勤労福祉会館にて開催。

- ・テーマ「アルコール関連問題と家族」
- ・東邦大学大学院 教授 安田美弥子氏が「愛情の病理（共依存）」と題して講演。
- ・医療行政8、一般20、断酒会83、総計111名の参加を得た。
- ・草加市の広報に開催記事が掲載された効果が大きかったのか一般市民の参加が多かった。

⑥ 滋賀（近江八幡市）

2月10日近江八幡市男女共同参画センターで滋賀県断酒同友会と滋賀県立精神保健福祉センター共催で実施。

- ・後援は滋賀県、近江八幡市、県社協、滋賀県医師会、近江八幡市蒲生郡医師会、近江八幡市社協、県精神神経科医会、県精神診療所協会、日本精神科病院協会滋賀支部、NHK大津放送局他マスコミ各社。このセミナーは滋賀県よりの補助金を利用した。
- ・テーマは「アルコール依存と自殺問題」で、東布施辻本クリニック院長 辻本土郎氏から「アルコールと関連する自殺をなくすために」と題して講演をいただいた。
- ・参加者は、行政・医療16、一般36・断酒会79、総計131名。
- ・市の広報や報道機関の催事欄への掲載、チラシ配りキャンペーン等行ったが参加者の数が伸びなかった。一般参加者の増加が今後の課題。

⑦ 福岡

2月10日（社）福岡県断酒連合会主催第33回福岡県酒害対策大会・市民公開セミナーとして、福岡県八女市民会館「おりなす八女」にて開催。

- ・後援：福岡県、福岡県精神保健福祉センター八女市、福岡県精神科病院協会、八女警察署。
- ・テーマ「アルコール依存症と自死」
- ・「生かされて生きる」の題目で、浄土宗総本山知恩院担任布教師 藤野良典氏が講演。
- ・八女市の広報及び新聞等に開催記事が記載された効果か一般の参加者が多かった。酒害相談も2件あり、これからも地域行政及び報道等との関係を密にして断酒会活動を市民に広めて行きたい。行政6、医療1、一般22、断酒会117、総計146名の参加を得た。

⑧ 静岡（静岡市）

2月16日 静岡市福祉エリア保健福祉複合館において、全断連主催、静岡県精神保健協会共催、（社）静岡県断酒会主管、静岡市保健所・静岡アルコール問題協議会後援で開催。

- ・テーマ「アディクションの先に見えるもの（飲酒運転・自殺対策）」

・基調講演 服部病院医師、寺田友博氏がアディクションの先には自死、飲酒運転の問題があることを啓発した。

医療・行政2、一般19、断酒会82、総計103名の参加を得た。

⑨ 三重（四日市市）

2月17日三重県議会での「飲酒運転防止条例」の制定への動きを背景に、関係機関である三重県の後援を得、四日市市楠福祉会館において、「アルコール問題市民公開セミナー」として（社）三重断酒新生会が開催。

- ・全断連顧問、三重かすみがうらクリニック副院長、猪野亜郎氏をコーディネーターとして、三重県環境生活部交通安全・消費生活課課長 浦河広巳氏、三重県議会議員 田中智也氏（飲酒運転防止条例検討委員会メンバー）、断酒会員、家族各1名によるシンポジウムを行った。
- ・三重断酒新生会の会員・家族各1名の体験発表を皮切りにセミナーがスタートしたが、シンポジストの発表にも熱がこもり、会場からも活発な質問、意見が飛び交う活気のあるものとなった。
- ・参加者は、行政3、医療6、一般6、自助グループ54、総計69名。

<2013年度全断連主催行事年間予定>

4/14	中国断酒ブロック（島根）大会
4/21	中部ブロック（愛知）大会
5/11～13	松村断酒学校（高知）
5/12	北陸ブロック（新潟）大会
5/26	関東ブロック（多摩）大会
6/ 2	東北ブロック（宮城）大会
6/22	全国評議員会（東京）
6/23	全断連第3回定時社員総会（東京）
7/27、28	北陸断酒学校（富山）
8/ 4	四国ブロック（愛媛）大会
8/24、25	全断連東京セミナー（東京）
8/30～ 9/ 1	山陰断酒学校（島根）
9/ 7、 8	東北ブロック研修会（岩手）
9/ 7、 8	北海道ブロック研修会（厚岸町）
9/22	北海道ブロック（当別）大会
9/29	近畿ブロック（京都）大会
10/12、13	中国ブロック断酒セミナー（山口）
10/13	四国ブロック学習会（高知）
11/ 2、 3	中部ブロック秋季研修会（愛知）
11/17	全断連第50回全国（沖縄）大会 全断連50周年記念式典
11/22～24	近畿ブロック断酒学校
2/14～16	大雪断酒学校（旭川）
3/ 1、 2	中部ブロック春季研修会（愛知）
3/ 1、 2	九州ブロック研修会（長崎）